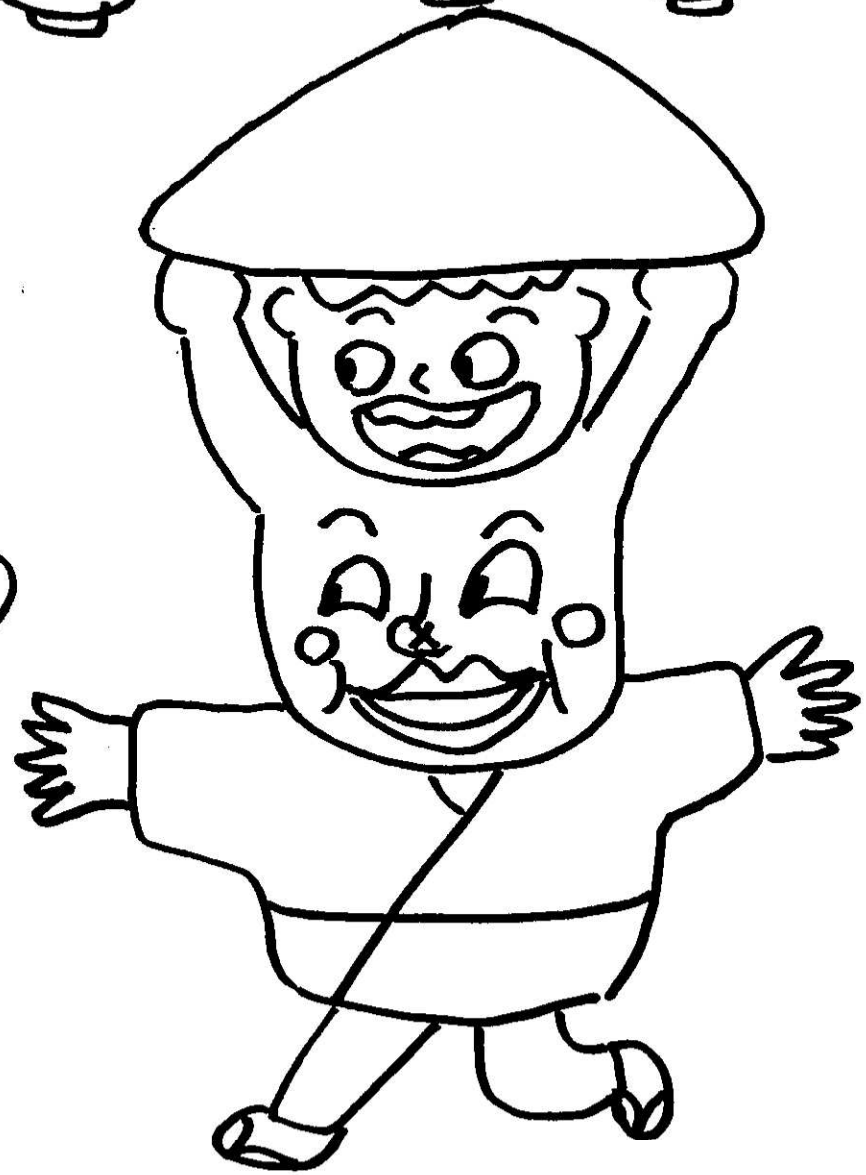
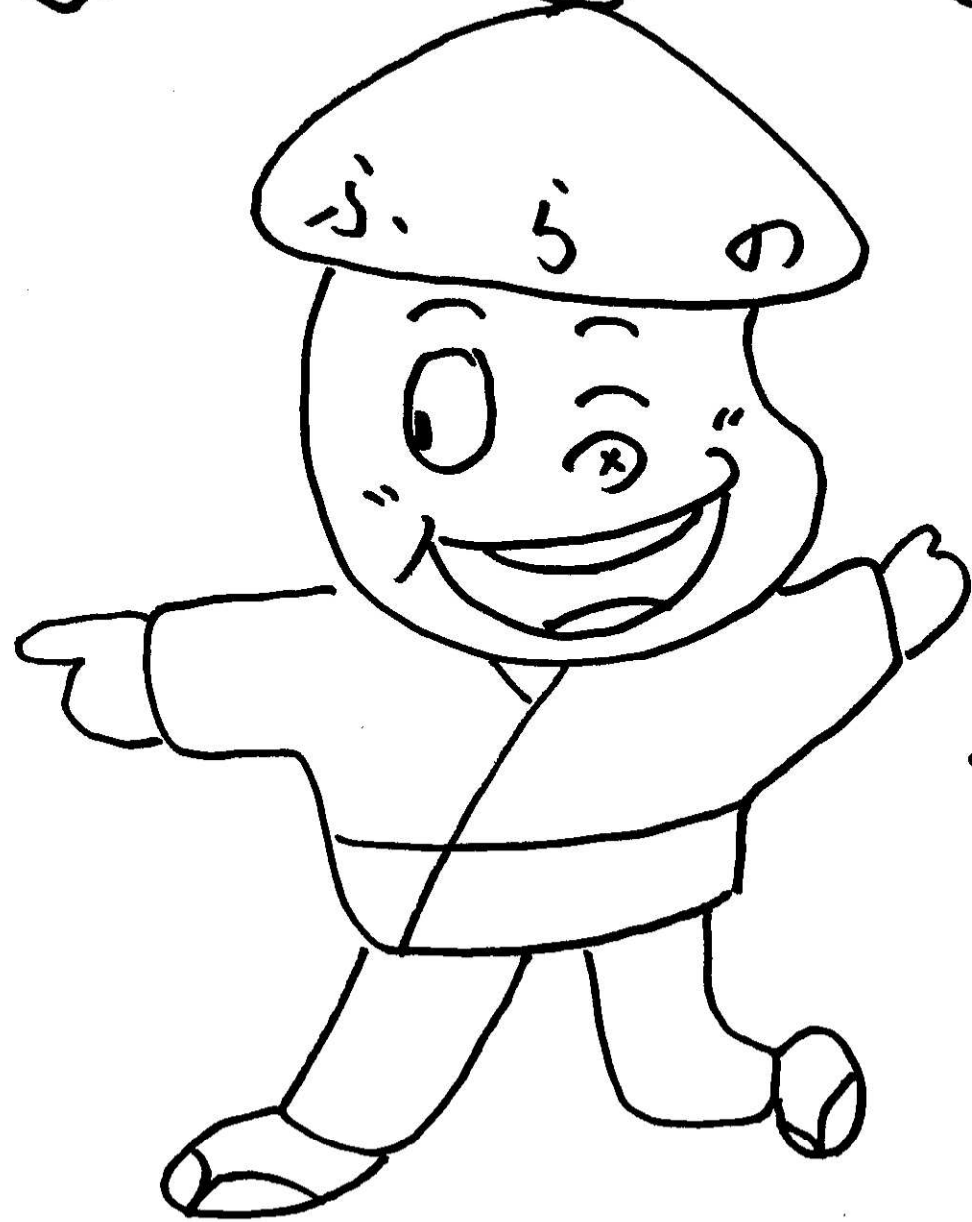
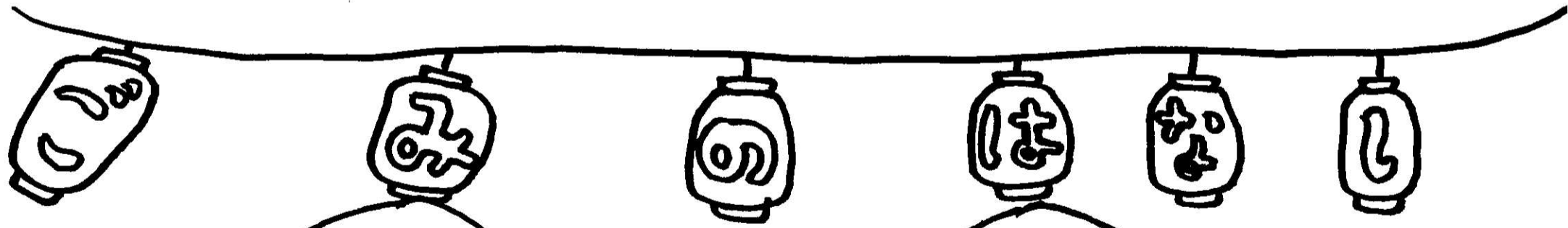


さく・え のむら くにひろ

☆えにすきないろをぬって きみだけの すてきなえほんにしあげてね！



くにひろくんと へそまるくん ことしもへそまつりで たのしく
おどっています。

くにひろくんが 「いや～たくさんのひとのなかで おどるの
って きもちがいいねー」というと
へそまるくんも 「そうだねーたのしいねー もうひとおどりす
るまえに おなかすいちゃったね なにかたべにいこうよ」と
いいました。

「うん！」 くにひろくんは げんきにこたえました。



たべたあとの ごみをすてるひとをみて くにひろくんは
ふしぎにおもい いました。「あれ—どうして ごみをわけて
すてるのかな？」

へそまるくんが「それは うーん？え〜と？」と こまってい
ると どこからか こえがきこえてきました。

「わしらが おしえてあげよー！」



「きみたちは だあれ？」くにひろくんは ききました。

「わしらはへそかぞく へそまるのとうさん かあさん いもうとじゃよ」と ひげをはやした へそまるくんのおとうさんがこたえました。

くにひろくんは「はじめまして ぼく へそまるくんの ともだちのくにひろです。よろしくおねがいます。」と げんきに こたえました。

「それでは まずは わしから おしえてあげよう~」と へそまるくんのおとうさんが いいました。



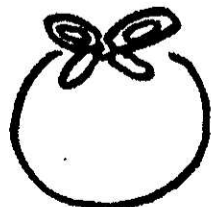
「むかしは ごみは ぜーんぶ やまのごみすてばに うめていたんじゃ けれども ごみをうめていくなかで たべたあとに できる なまごみなどをえさに たくさんのからすがあつまり ちかくにすんでいるひとも からすのおおさや そのごみのおいにおまっていたのじゃ」とへそまるくんの おとうさんは いました。

くにひろくんは「そうなんだ たいへんへんだったんだね でも そのにおいや からすのおおさは どのようにして かいけつしたの? 」とききました。

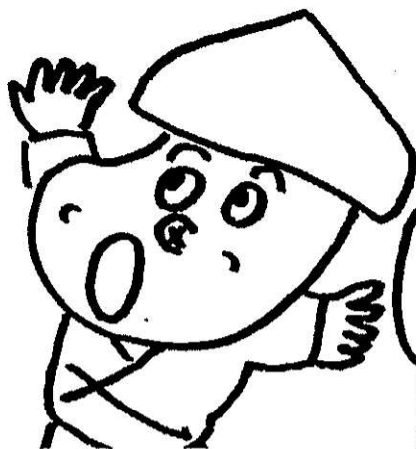
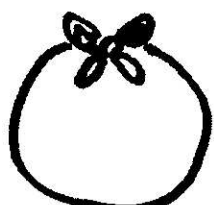
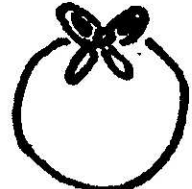
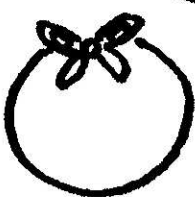
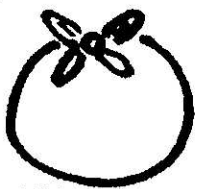
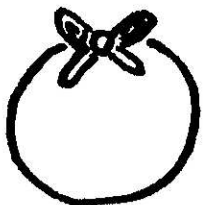
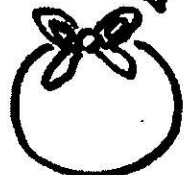
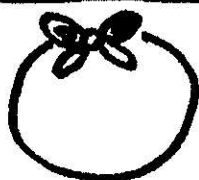
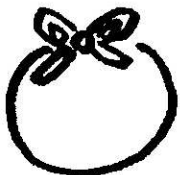
3ぶんべつ



6ぶんべつ



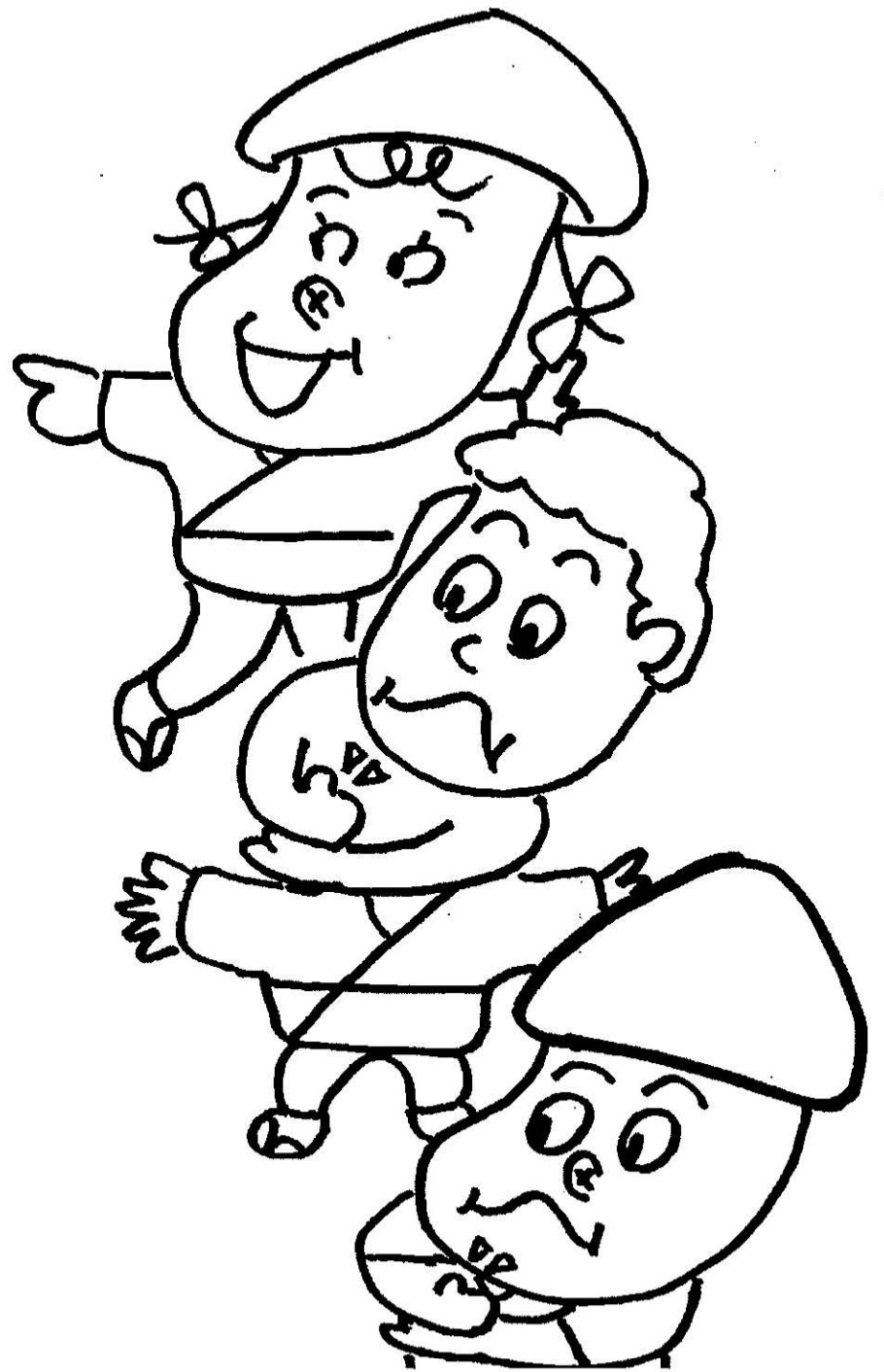
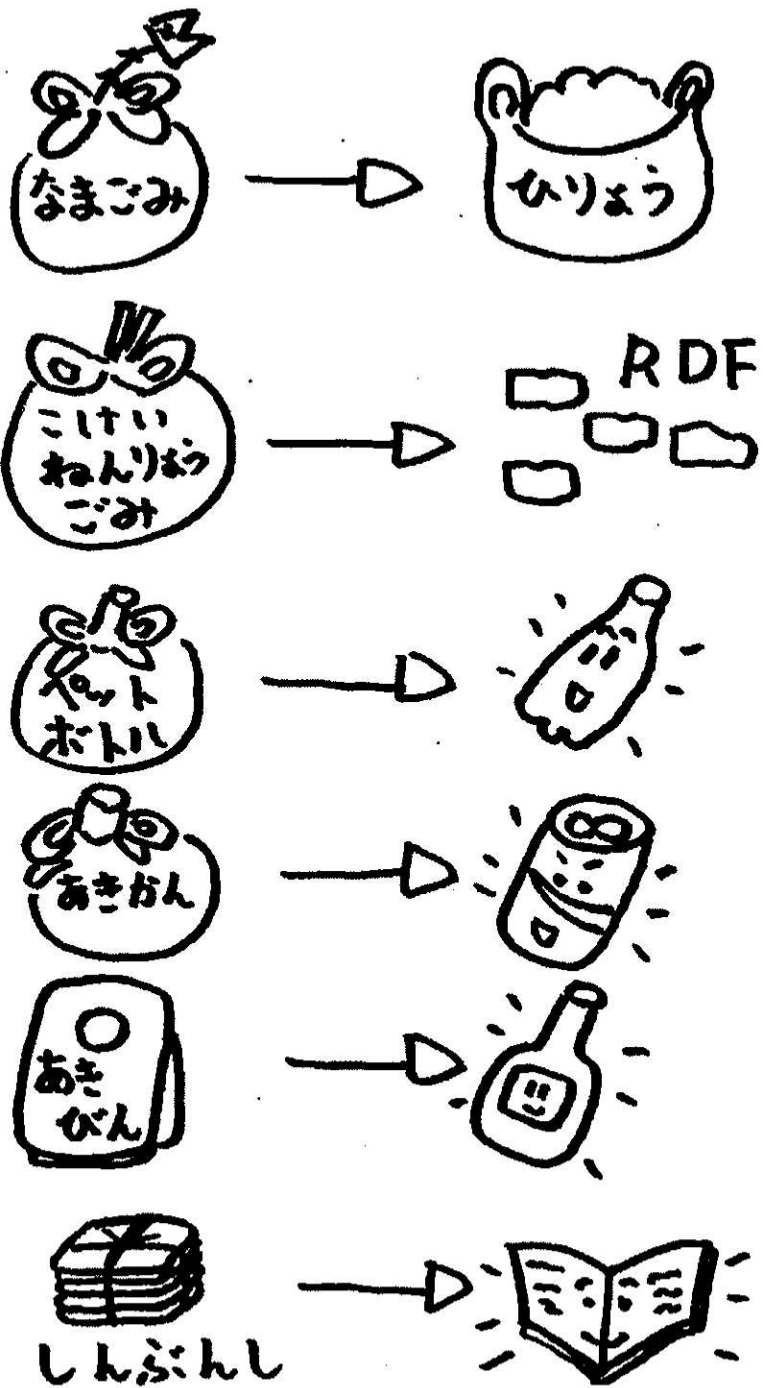
14ぶんべつ



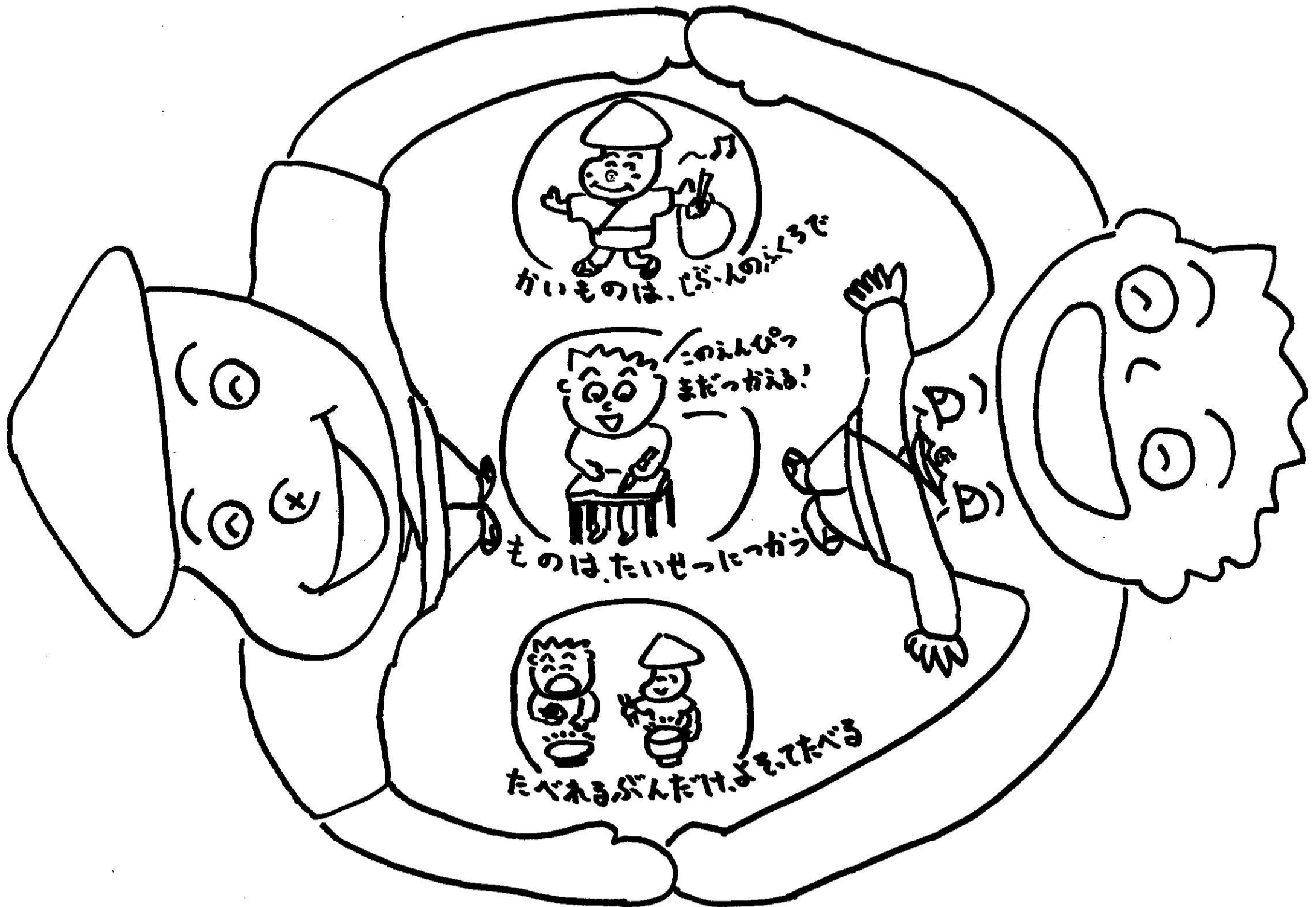
するとへそまるくんの おかあさんがいいました。「こんどはわたしが こたえるわね。そこで かんがえついたのが ごみをわけてすてる ごみぶんべつなの。すんでいるひとが なまごみと かんでんちと うめるごみの3しゅるいに分けることにしたの そしてたべものがなくなった からすはどこかへ 行ってしまったの それからは ごみをなるべくうめないようにするために ☆6しゅるいに分けて いまでは ふらのにすんでいるひとは ☆14しゅるいのごみに分けて すてているのよ。」「それで うめるごみも においもなくなり からすもへったんだね。ちかくにいるひとだけが こまるのではなくて みんなで きょうりよくして かいけつしようとかんがえたんだね！」くにひろくんは いいました。「でも わけられたごみは そのあと どうなるの？」と くにひろくんが ふしぎにおもってききました。

☆6しゅるいのごみぶんべつ(なまごみ こけいごみ かんでんち あきかん いっぱんごみ そだいごみ)

☆14しゅるいのごみぶんべつ(なまごみ こけいごみ かんでんち あきかん ペットボトル あきびん せともの てつ はいしんぶんざっし くさきえだ えいせいようひん そだいごみ しよりこなんぶつ)



こんどは へそまるくんの いもうとがはりきって いいました。「つぎは わたしがこたえるわね！わけられたごみは なまごみは はたけのひりょうになり こけいごみは RDF というねんりょうになり おふろのおゆなどを わかしているの ペットボトルやあきかん びん てつ しんぶんなどは わけてすてることで またあたらしく おなじものにうまれかわるのよ！」「まぜれば ごみだけど わけることで あたらしいものに うまれかわるんだね！」くにひろくんは なんだか とてもうれしいきもちに なりました。



かいものは、ばんのいぐで



のえんひつ
まだっかえり!

ものは、たいせつにかうも



たべれるばんだけ、よそでたべる



いんげん
いんげん

こんどは へそまるくんが いいました。「ごみをわけてすてることも たいせつだけど ごみをださないことも だいじなことなんだ。たとえば かいものをして レジぶくろをもらうのではなく じぶんでもっていったぶくろ マイバックにいれてもちかえるとか ものはさいごまで たいせつにつかう たべるごはんも たべれるぶんだけ よそって たべることで なまごみをへらすこともできる それも ごみをへらすほうほうの ひとつかもしれないね！」

「ごみをへらすことで すんでいる まちに いいことがあるんだね！」と くにひろくんは かんしんして いいました。



おしましん♡

「それじゃ、わしらはいくよ。へそまる・くにひろくん じぶんに
できることを ひとつでいいから やってみてごらん。すみや
すく きれいでいいまちになるからの～。へそのごみも きれ
いにしないと からだによくないからの～。なんちゃって♡」

そういつて へそまるくんの おとうさんやかぞくのみんなは
おまつりへもどっていきました。くにひろくんはいいました
「へそまるくん ぼくたちにできることから やってみよう！す
んでいる まちのためにもさ♪」「そうだね！くにひろくん」そう
いいながら へそまるくんと くにひろくんは ごみをわけて
すてて また おまつりをたのしみましたとさ

おーしーまい♪

